



# 若者の自殺をどう防ぐか

▶問合せ 福祉グループ ☎079 (435) 2361

▲清水康之さん(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表)

元NHK職員。社会問題を掘り下げるドキュメント番組制作を経験。その後、NPO法人を設立し、子どもや若者の自殺の現状と自殺を防ぐための提言と情報発信を行っています。

8月1日、中央公民館で播磨町自殺予防講演会が開催され、民生委員・児童委員、教職員など約200人が参加しました。

**講演内容**  
若者の実態調査での具体的な自殺未遂(いじめ、家族不和)や自殺(仕事の過労、借金、失業)の事例の紹介があった。日本の自殺率が世界9位であり、G7の中で群を抜いて高いこと。1人が自殺で亡くなると4~5人が遺族になり、その数は毎年約10万人、国民の40人に1人となる。また、若年層の死因の第1位が自殺であり、20歳~29歳の死因の半数は自殺である。

講師が中学生にしている授業では、「自分を大切にしよう」「助けて」と言える勇気を持つように」というテーマで行

清水氏がコーディネーターとなり、町長、湯浅養護教諭、吉川民生委員・児童委員が登壇し、トークセッションを行い、それぞれの立場で現状や今後の取り組みについて話し合いました。

参加者からは、「周りの人の話をじっくり聞いていきたい」「困っている人により添っていききたい」「SOSの出し方を伝えていきたい」などの感想や、連携することや地域力の大切さを実感したとの意見がありました。

若者の死因のトップは交通事故ではなく、自殺です。毎日、55人が自殺をしています。日本は世界でも例をみない自殺大国です。

っている。内容は、講師自身の自己開示を行いながら、世界の9割以上の人は、日本以外の場所で生きていること、不安や悩みを抱えている中学生の割合は8割以上であることを踏まえ、話を真剣に受け止めている人が必ずいる、また近くにいても相談できる場所は必ずあると伝えている。「こころ」の声・叫びを受け入れてくれる人が1人でもいれば、生きる力になり、生きようと思える。すべてのことが無駄ではなく、大人になることへの希望を持たせることが、重要である。

**播磨町の取り組み**  
講演に先立ち、町職員より昨年度策定した「播磨町自殺対策計画」の概要説明を行いました。

**トークセッション**  
清水氏がコーディネーターとなり、町長、湯浅養護教諭、吉川民生委員・児童委員が登壇し、トークセッションを行い、それぞれの立場で現状や今後の取り組みについて話し合いました。



### 今後の開催予定

9月	CHIAKIほおずき播磨 (東野添2丁目18番6号) ☎078(949)1566
10月	特別養護老人ホームあえの里 式番館 (宮北1丁目6番15号) ☎079(436)6001
11月	ゆとり庵 大中 (南大中1丁目7番27号) ☎079(441)2770
12月	小規模多機能型居宅介護事業所 みんなの家 (宮北1丁目6番6号) ☎079(437)1002
1月	あつぷるグループホーム播磨 (野添401番地の3) ☎078(944)1799
2月	CHIAKIほおずき播磨 特別養護老人ホームあえの里 式番館

大好きな家族みんなが、ずっと笑顔で暮らせるように  
つどいカフェをぜひご存知ですか？

▼問合せ 福祉グループ ☎079 (435) 2361

播磨町では、「地域の誰もが参加できる場」として、「まちなかホストステーション つどいカフェ」を、町内5カ所の介護事業所で開催しています。お茶を飲みながら話をしたり、介護についての相談をしたりできます。また、認知症予防などに立つミニ講座も開催しています。

つどいカフェの開催日時や場所などは、毎月の広報はりに掲載していますので、お気軽にご参加ください。



**9月開催のつどいカフェ**

▶日時 9月26日(木)  
13:30~15:30

▶場所 CHIAKIほおずき播磨

▶内容・講師 ①介護保険の上手な利用について(CHIAKIほおずき播磨職員)  
②1UP健康生活~運動と栄養~(芳山雅胤 薬剤師)

▶問合せ CHIAKIほおずき播磨  
☎078(949)1566

## 誰もが自殺に追い込まれない社会の実現を目指して「播磨町自殺対策計画」を策定しました

平成28年4月に自殺対策基本法が改正されたことを踏まえ、誰も自殺に追い込まれない社会を目指し、「播磨町自殺対策計画~すべてのいのちをみんなを支えるまちづくり~」を策定しました。



▶計画期間 平成31(2019)年~令和5(2023)年

▶計画の数値目標 計画最終年である令和5(2023)年時点で、町内自殺者数を50%以下まで減少させる

▶推進体制 自殺対策を進めるためには、本町において住民を支援している様々な機関・団体が連携・協働しながら住民を支えていく必要があります。行政をはじめ、県や近隣市町、町内の団体との連携・協働を通じて、誰一人として自殺に追い込まれることのないまちづくりを進めていきます

【播磨町における連携・協働のイメージ図】



認知症地域支援推進員にもご相談ください

播磨町地域包括支援センターでは、認知症の人にやさしい地域づくりを推進するため、「認知症地域支援推進員」を配置しています。「認知症地域支援推進員」は、認知症の人や家族などの相談支援だけでなく、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関との連携のための支援なども行っています。

▼問合せ 播磨町地域包括支援センター ☎079(435)1841

**地域ふれあい介護相談**

つどいカフェを開催している5カ所の介護事業所では、「地域ふれあい介護相談」として、常時、地域の介護サービスや介護に関する相談などに応じています。介護に対する不安や心配ごと、認知症に関する疑問など、お気軽にお問い合わせください。

▼問合せ 各介護事業所